

(単位：千円)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	京阪神の都市圏に行かなくとも、“地元で優れた音楽を聞く”のコンセプトにより、本市における音楽芸術の振興と質の高い演奏に触れる機会を創出する事業として、必要性は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	市民ボランティアによる実行委員会を組織し、企画から演奏会の運営など市民協働により事業を推進している。コンサート等の入場料により効率的な事業推進を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	「スタインウェイを弾いてみよう」事業は、ピアノの名器スタインウェイに触れていただく機会を創出するとともに、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用を目的に実施している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、令和5年度に実施した「阪田知樹ピアノリサイタル」では380名の来場があるなど、毎年の恒例事業として定着している。来場者について、40代以上が8割を超えている状況があり、30代以下の若い世代にも良質な音楽に触れてもらうため、広報やPRの方法について検討し、来場者数の増加につなげたい。		
改 善 策	新規来場者の増加のため、HPやSNS等を利用し、効果的な広報を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	市展事業							事業コード	020108650203					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興						施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	76・77	頁
計画期間	開始年度	昭和40年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	—													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	芸術・創作活動の発表の場と鑑賞の機会を市民に提供し、多くの市民による自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる、豊かな感性を持った地域社会を構築する。					
対象者	市民、出品者、来場者(市内・市外を対象)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,952		4,030		5,712		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		3,952		4,030		5,712		0						
予算財源内訳	① 一般財源	450		600		2,820		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	3,502		3,430		2,892		0						
決算情報	① 流充用額	△ 72		118										
	② 配当予算	3,880		4,148										
	③ 執行額	3,880		4,084										
	④ 執行率	100.0%		98.5%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.29	/	0.04	0.44	/	0.13	/						
	② 概算人件費	2,432		3,884										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,312		7,968										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市展事業基金繰入 (市展振興基金)		種類	基金繰入金		実績金額	250		決算附属資料	37		頁
			市展作品出品料			雑入			568			47		
			市町村交付金			雑入			2,345			49		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	新規出品者数	人	31	/	50	29	/	50		/	50
	高校生出品者数	人	1	/	20	6	/	20		/	20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	出品者数	人	363	/	400	344	/	400	312	/	400
		単位あたりコスト	10.0		11.3		13.1				
	入場者数	人	2101	/	3000	2287	/	3000	2007	/	3000
		単位あたりコスト	1.7		1.7		2.0				

市展事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■北近畿最大規模の公募美術展として、三たん地域(丹後・丹波・但馬)を中心に広く作品を募集している。 ■工芸・書・写真・絵画・彫刻の5部門において、専門的な知識を持つ審査員を招いて出品作品を審査し、表彰を行うことで、出品者の参加意欲の向上を図っている。 ■審査員による講評会を開催し、展示作品をより専門的な視点から鑑賞できる機会を設けた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■会場の設営・展示・撤収作業は美術品の扱いについて専門的な技術を持つ業者に委託することで、安全確保と効率化を図っている。 ■会場の運営を共催団体と協働で行い、効率化を行っている。 ■来場者に対するアンケートを実施し、運営や展示方法について意見・要望を収集した。 ■他市の公募美術展を視察し、事業内容の比較を行っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■市民の芸術活動の場となっており、例年約500点の出品を受けている。 ■新規の出品者数や高校生の出品者数を増やすことが、全体の出品数や入場者数の増加につながるため、成果目標は適切である。 ■市民の芸術鑑賞の場となっており、展示会には例年2000人以上が来場する。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■毎年一定時期に開催していることにより、三たん地方を中心とする公募美術展として定着している。 ■60歳以上の出品者により、一定の出品者数を維持できている。一方で、高校生をはじめとする若年層の出品者数が減少している。 ■来場者に対するアンケートの結果より、高齢者、出品者の知人等を中心とする来場者層の固定化が想定される。		
改 善 策	■若年層をはじめとする新規出品者の増加を目指し、賞の区分及び募集規格の見直し等を検討する。令和6年度は第60回記念として、新たに記念賞を設置。部門の変更については、第61回実施に合わせて運営委員等と検討する。 ■共催団体と連携して、市内の文化教室に作品募集の周知を行うとともに、展示会場での文化教室案内チラシの配架等を行う。 ■新規来場者の増加を目指し、HPやSNS等を利用した広報の頻度増加等を検討する。 ■来場者が快適に鑑賞できるよう、展示配置やキャプション見やすさ向上等の改善を行う。特に写真展示については、展示ライトが暗いといった意見があるため、委託業者と調整し改善する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	佐藤太清賞公募美術展事業										事業コード	020108650205				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課							所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費			目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	77	頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市出身の日本画家であり、名誉市民である佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。 北近畿の中核都市に相応しい文化的イメージの向上を図るとともに、全国に情報を発信することで、福知山市の認知度向上につなげる。					
対象者	市民、出品者(全国の15歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	12,441		12,519		13,200		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		12,441		12,519		13,200		0				
予算財源内訳	① 一般財源	2,921		561		6,571		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	9,520		11,958		6,629		0				
決算情報	① 流充用額	370		793								
	② 配当予算	12,811		13,312								
	③ 執行額	12,810		12,851								
	④ 執行率	100.0%		96.5%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25	/	0.30	0.67	/	0.37	/				
	② 概算人件費	2,840		6,396								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,650		19,247								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清賞公募美術展事業基金繰入 (佐藤太清記念美術館振興基金)		種類	基金繰入金		実績金額	2,200	決算附属資料	36	頁
			佐藤太清賞公募美術展出品料			雑入			338		47	
			市町村交付金			雑入			7,970		49	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	出品者数	人	123	/	250	96	/	250	118	/	250
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	市内高校生の出品者数	人	7	/	12	7	/	12	6	/	12
	単位あたりコスト		106.5		1830.0		2141.8				
	入場者数	人	1096	/	2000	5750	/	2000	1670	/	2000
	単位あたりコスト		11.9		17.1		7.7				

佐藤太清賞公募美術展事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 ¹ の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	全国規模の公募美術展を開催することで、日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着、福知山の認知度向上にもつながっている。過去の受賞者の中から、日展作家や個展を開催される方も輩出している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	募集から展覧会の開催まで、事務局業務を一元的に委託することで、市との連携もでき、一本化によるコストの削減効果も高い。また美術品運送・会場設営などを専門的知識や経験の必要な業務を委託しており、効率的な運営ができています。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	本市における文化的資産である「佐藤太清」を活用して、全国的に発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品・入賞等もあり、次世代の育成の場ともなっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・「佐藤太清の福知山」、「若い世代の育成」という福知山からのメッセージを全国に発信することができた。 ・市内の高校から毎年出品いただくなど、市内においても一定定着している。 ・多くの市民が作品を鑑賞できる場を創出するため福知山会場の会期を3日間から5日間に変更した。 ・パネル展示を市内施設で巡回しPRにつなげた。 ・自宅で入賞作品を見れる「おうちで太清賞」を実施し、会場に足を運ばなくても作品を鑑賞できる機会をつくった。		
改 善 策	・出品者の増加を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。 ・入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行う必要がある。また、市内パネル展を行うにあたり、より多くの人に見ていただける場所で実施する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	中丹文化芸術祭事業								事業コード	020108650208						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり								
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興							施策コード	512						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	77	頁	
計画期間	開始年度	昭和62年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が取り組む芸術・創作活動の成果を発表する場を支援することで、より多くの市民に芸術に触れる機会を提供し、心豊かな地域社会の構築を目指す。				
対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)	対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (当番市への負担金交付)				
委託先・実施主体等	日本海警備保障株式会社 中丹文化芸術祭実行委員会				
事業概要 (箇条書き)	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の発表の場を提供する。 運営については、各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施している。 開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当する。(令和5年度は綾部市が事務局を担当した。)				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容		
	委託料	56	警備業務		
	使用料及び賃借料	148	施設使用料		
	負担金補助及び交付金	400	中丹文化芸術祭分担金		

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	868		637		532		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		868		637		532		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	868		637		532		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	△ 148		0										
	② 配当予算	720		637										
	③ 執行額	720		604										
	④ 執行率	100.0%		94.8%										
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.07	/	0.04	0.07	/	0.30	/						
	② 概算人件費	672		1,400										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,392		2,004										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	出演者数	人	816	/	900	940	/	1000	/	1000	1000
	来場者数	人	1047	/	1500	1765	/	2000	/	2000	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開催種目数	事業	5	/	9	6	/	9	/	9	9
	単位あたりコスト		80.0		120.0		100.7				
	単位あたりコスト		/		7		/		中丹文化芸術祭事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■中丹3市で芸術、創作活動に取り組む文化団体が一堂に会し発表する場を確保することで、各市の文化団体が相互に交流し、新たな文化を創造する機会となっている。 ■他市の文化団体の発表を鑑賞する機会として、本市の文化振興につながるため必要である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■中丹文化事業団、中丹3市文化協会委員及び各市担当職員から組織される実行委員会により運営している。 ■各身分担金は均等であり、会場使用料及び負担金等を効率的に使用して事業を実施している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■開催種目については、次世代の文化の担い手の育成も視野に入れて設定されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■中丹3市の文化団体の発表の場であり、各市の文化団体の相互交流、活動の周知や新規会員募集のPRの場としての役割を果たしている。 ■京都府、中丹3市からの負担金を財源として運営しているが、いずれも予算削減のおり予算確保が難しくなっている。		
改 善 策	■京都府と中丹3市、3市文化協会の協働で実施している事業であり、課題や情報を共有しながら進めていく。 ■新規の参加団体を獲得するため、中丹文化事業団、文化協会と連携して新規団体の発掘や広報活動に取り組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業										事業コード	020108650209			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいがづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	77・78	頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱、ジュニア文化活動全国大会等出場事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とするために、文化協会に事業支援補助を実施し、市民の多様なニーズに対応した文化事業に取組み、文化・芸術活動の発表する機会を提供する。					
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,247		6,069		5,960		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		5,247		6,069		5,960		0		
予算財源内訳	① 一般財源	939		1,350		2,120		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	2,623		3,034		2,980		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	1,685		1,685		860		0		
決算情報	① 流充用額	689		424						
	② 配当予算	5,936		6,493						
	③ 執行額	5,769		6,213						
	④ 執行率	97.2%		95.7%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.39	/	0.00	0.10	/	0.35	/		
	② 概算人件費	3,120		1,780						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,889		7,993						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業(きょうと地域連携交付金)		種類	総務費府補助金	実績金額	2,865	決算附属資料	22	頁
		福知山市史等図書			物品売払収入		168		33	
		夜久野町史			物品売払収入		6		33	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	全国大会出場補助金利用数	件	2	/	5	5	/	5	/	5	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	文化協会との共催事業数	件	3	/	10	6	/	10	6	/	10
	単位あたりコスト		1587.0		961.5		1035.5				
	単位あたりコスト		/		9		/		市民文化活動推進事業他文化振興関連事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○市民が文化に触れる機会を創出するために、市民による文化推進団体である文化協会の活動を支援し、またジュニア世代の文化活動を盛り上げ、育成していくためにジュニア世代の全国大会等への派遣費補助をおこなっている。	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○福知山文化協会との共催事業として、文化協会が中心的な役割を担い、福知山市文化祭事業や各種公演、発表会を実施することで効率性を高めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○文化協会から、事業報告・収支報告を年度終了後受け、内容を精査している。また、全国大会出場派遣費補助については、制度の要綱に照らし合わせ、申請を受理している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できている。 ○各学校回りを行い、説明を重ねることで全国大会出場補助金やジュニア文化賞なども広く認知してもらうことができ、昨年度並みの申請件数があった。 ○高校生等の全国大会への出場に際し、市長の激励の場を設けるとともに、ジュニア全国大会出場派遣費補助の制度を活用していただいた。これらの取組により、モチベーションアップや大会参加への負担軽減につながった。		
改 善 策	○今後も継続して市内学校に出向き、制度の説明をおこなう。 ○文化協会と連携をとり、時代や市民ニーズにを的確にとらえた文化事業の実施をおこなっていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山市ジュニア文化賞表彰事業										事業コード	020108650216				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課							所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78	頁	
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	ジュニア文化賞に関する規則、ジュニア文化賞表彰要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	高校生以下の全国大会において優秀な成績を収めたものを表彰し、文化賞が若者の文化活動の発展・継承、参加への機運醸成につながる事業とする。				
対象者	市内に在住・在学する小学生・中学生及び高校生	対象者数	1,000	単位あたりコスト	2.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	51		60		73		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		51		60		73		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	51		60		73		0			
決算情報	① 流充用額	80		99							
	② 配当予算	131		159							
	③ 執行額	131		158							
	④ 執行率	100.0%		99.4%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.21 / 0.00		0.07 / 0.70		/		/			
	② 概算人件費	1,680		2,520							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,811		2,678							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市ジュニア文化賞表彰事業基金繰入(文化賞基金)		種類	基金繰入金		実績金額	60		35	頁
								決算附属資料			

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	文化賞表彰件数	件	4	/	5	7	/	5		/	5
	文化賞推薦件数	件	4	/	5	8	/	5		/	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	候補者照会先	件	34	/	34	34	/	34		/	34
	単位あたりコスト		2.0		3.9		4.4				
	単位あたりコスト		/		11		/		福知山市ジュニア文化賞表彰事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	若年層の活動を激励し、文化活動で成果を上げた者を表彰することで文化活動を振興し、次世代育成に繋げている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	候補者について各学校・団体からの推薦を受け、選考委員会により効率的に選考を行う。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	本市からの表彰が意識の向上、郷土愛の醸成と若年層の文化の底上げに繋がっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・表彰をすることによってジュニアの文化活動に対する動機づけになり、文化活動の振興につなげることができた。しかし本表彰制度について、より深く理解してもらうことが必要である。		
改 善 策	・市内の各学校に本事業について個別に説明を行い、より正しく理解してもらうことで、賞に関して周知を広め賞の価値を高めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	生誕110年佐藤太清展事業								事業コード	020108650229						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり								
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興						施策コード	512							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	令和5年度に福知山名誉市民で文化勲章受章者の佐藤太清画伯の生誕110年を迎えるにあたり、その画業と功績を顕彰する。佐藤太清記念美術館を含めた全国の美術館で巡回展を行うことで、市民等に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、全国に情報を発信することで福知山市の認知度向上につなげる。					
対象者	市民、入場者(市内外)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,622		23,791		0		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		2,622		23,791		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	2,622		23,791		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 92		2,051									
	② 配当予算	2,530		25,842									
	③ 執行額	2,530		25,842									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.75 / 0.00		0.95 / 0.12		/		/					
	② 概算人件費	6,000		7,936									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,530		33,778									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	生誕110年佐藤太清展事業基金繰入 (佐藤太清記念美術館振興基金)		種類	基金繰入金		23,791		決算附属資料	36		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	福知山会場来館者数	人	/	- / 0	2642 / 1000	/ -	1000
	福知山会場グッズ販売数	数	/	- / 0	606 / 500	/ -	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	実行委員会等の開催	回	/	4 / 3	0 / 3	/ -	3
	単位あたりコスト			632.5	0.0		
	単位あたりコスト		/	13 /	/	/ 生誕110年佐藤太清展事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	R5年度に本市名誉市民の佐藤太清画伯の生誕110年を記念し、巡回展をおこない本市の文化振興のPRをおこなった。 ・令和5年4月29日～6月4日 板橋区立美術館 ・令和5年7月1日～8月27日 八幡浜市美術館 ・令和5年9月10日～10月22日 福知山市佐藤太清記念美術館	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	佐藤太清画伯の作品を扱うということで、運搬業者、デザイン業者をはじめ委託業者については佐藤太清画伯のお孫さんのご意向(要望)が強いところがあり、コスト削減等効率化の工夫については難しいのが現状である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	前回の内容や、美術館の巡回展の事例等をしっかり確認しながら、実施をおこなっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	資材の高騰や新たな要望事業など、費用が当初予想していた額より高くなっている。佐藤太清画伯のお孫さんの御意向(110年展開催の全般について)が強いところもあり、調整に時間を要したところもあるが、予定通り事務を進めている。		
改 善 策	巡回展を開催するか、しないか未定の館との調整や、より福知山市民の文化振興につながる展示方法や市外自治体への本市をPR出来る内容を検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業										事業コード	020108650302			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78・79	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	佐藤太清記念美術館において、一般公募で実施する「小さな絵画展」や市内高校からの作品を展示する「高校アート展」他を開催し、作品発表の場、観覧の場として市民文化の発展に寄与することを目的とする。					
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内外を対象)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	930		1,067		1,929		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
	小計(①～③)	930		1,067		1,929		0		
予算財源内訳	① 一般財源	50		88		333		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	880		979		1,596		0		
決算情報	① 流充用額	482		△ 22						
	② 配当予算	1,412		1,045						
	③ 執行額	1,412		916						
	④ 執行率	100.0%		87.7%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 1.00		0.09 / 1.10		/		/		
	② 概算人件費	3,760		3,800						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,172		4,716						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業基金繰入 (佐藤太清記念美術館振興基金)			基金繰入金		438		36	
		市町村交付金			雑入		実績金額		461	
									決算附属資料	
									49	
									頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	企画展示品等充実事業関連入館者数	人	3145 / 10000		4812 / 10000		3745 / 10000		/ 10000		10000
	(小さな絵画展、高校アート展、工芸織縫大学連携展)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開催回数	回	3 / 3		3 / 3		3 / 3		/ 3		3
	単位あたりコスト		260.3		470.7		305.3				
	単位あたりコスト		/		15 /		佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行った。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し、効率的に管理を行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図り、美術館を活用したワークショップやコンサート等の文化活動を行った。一方で、企画展は例年通りのものしか開催できず、来館者を増加させるような取り組みはできなかった。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し、「小さな絵画展」、「高校アート展」、「京都工芸繊維大学連携展」を開催した。 ・ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施した。		
改 善 策	・見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズをアンケートなどで把握し、それを基に企画運営を図り施設を有効に活用する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業										事業コード	020108650306				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	79・80	頁	
計画期間	開始年度	平成2年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	44,444		9,418		18,144		0						
	② 補正予算	398		0		0		0						
	③ 繰越予算	△ 33,605		33,605		0		0						
	前年度繰越	0		33,605		0								
	次年度繰越	△ 33,605		0										
小計(①～③)		11,237		43,023		18,144		0						
予算財源内訳	① 一般財源	5,424		9,764		188		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	3,100		30,200		0		0						
	⑤ その他特財	2,713		3,059		17,956		0						
決算情報	① 流充用額	△ 2,915		△ 2,204										
	② 配当予算	8,322		40,819										
	③ 執行額	7,582		32,968										
	④ 執行率	91.1%		80.8%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.14	/	1.72	0.28	/	1.80	/						
	② 概算人件費	5,936		7,280										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,518		40,248										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清記念美術館管理運営事業(公通・脱炭素)		種類	教育債		実績金額	13,700		51	頁		
			佐藤太清記念美術館管理運営事業(公通・長寿命化)			教育債			9,700				決算附属資料	51
			佐藤太清記念美術館入館料			総務使用料			627					

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	4782	/ 11000	5412	/ 11000	7970	/ 11000		/ 11000	11000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開館日数	日	202	/ 307	221	/ 307	280	/ 307		/ 307	307
		単位あたりコスト	43.4		34.3		117.7				
			/		17		/		佐藤太清記念美術館管理運営事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	本市の名誉市民であり、日本画家の佐藤太清画伯を顕彰し、その作品を展示、収蔵するとともに福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	施設の運営において、美術品等に関わる専門性が求められる業務もあり、学芸員等有資格者の嘱託職員を配置し、施設管理に伴う業務については、入札により長期継続契約を締結しており、効率的な運営ができています。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	美術館は、全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない施設である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。また、わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップやギャラリートーク等の市民参加型の体験会を実施し、市民に文化芸術に触れていただく機会を創出している。 ・設備等の老朽化が進んでいる。		
改 善 策	・施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでいることから、計画的な改修や、運営方法について計画的に検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	厚生会館管理運営事業										事業コード	020108650318		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり					
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	81	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		継続中
根拠法令等	福知山市厚生会館条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催・運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。				
対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	15,376		17,749		19,191		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		15,376		17,749		19,191		0						
予算財源内訳	① 一般財源	4,864		7,237		8,665		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	10,512		10,512		10,526		0						
決算情報	① 流充用額	2,775		1,542										
	② 配当予算	18,151		19,291										
	③ 執行額	18,149		19,290										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.20	/	2.80	0.50	/	2.70	/						
	② 概算人件費	9,440		11,560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		27,589		30,850										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	厚生会館使用料		種類	総務使用料		実績金額	7,350		7	頁		
			厚生会館			雑入			58				決算附属資料	44
			地域住民センター利用料			総務使用料			54					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	施設使用料	千円	4538	/	14500	6119	/	14500	7350	/	14500
	施設利用者数	人	13972	/	75000	35858	/	75000	32514	/	75000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	施設利用件数	件	483	/	1500	873	/	1500	806	/	1500
	単位あたりコスト		31.1		20.8		23.9				
	稼働率	%	12	/	30	19.2	/	30	15.9	/	30
		単位あたりコスト		-		-		-			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■施設の老朽化並びに設備費用も古いため、市民からの改修ニーズは高い。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■受益者負担の原則から使用料負担により年間事業費の約40%、自動販売機の貸付等収入で約1%の収入を確保している(令和4年度)が、より利用率を向上させる必要がある。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■成果目標は令和元年度までの実績値から平均値を算出しており、成果目標・実績の設定は適切である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく、必要性は高い。 ■新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した利用者数は回復傾向にあるが、市内他施設に対して設備の老朽化が進んでいることが利用者数減少の要因として想定される。 ■厚生会館施設及び設備の老朽化により、修繕を要する箇所が多数ある。 ■新文化ホール整備基本構想・基本計画に沿った事業展開に伴い、施設の今後の在り方を検討する。		
改 善 策	■新文化ホールの整備に伴う厚生会館の今後の在り方を考慮しながら、老朽化している設備を改善する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	新文化ホール計画策定事業										事業コード	020108650383			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	81	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化芸術基本法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が気軽に文化に接し参加できる文化活動の核となる施設として、新たな文化ホールの整備のための基本構想・基本計画の策定に向けて検討に着手する。 検討にあたっては、有識者や関係団体等で構成する検討委員会を設置し、文化ホールとしての機能や、避難所機能など施設の複合化も含め、新文化ホール整備に向けた基本構想・基本計画の検討・策定を行う。				
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	13,354		1,615		23,821		0				
	② 補正予算	1,255		1,767		0		0				
	③ 繰越予算	△ 13,255		13,255		0		0				
	前年度繰越	0		13,255		0						
	次年度繰越	△ 13,255		0								
小計(①～③)		1,354		16,637		23,821		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,354		16,637		23,821		0				
決算情報	① 流充用額	342		△ 1,553								
	② 配当予算	1,696		15,084								
	③ 執行額	1,696		15,026								
	④ 執行率	100.0%		99.6%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.65	/	0.00	1.65	/	0.00	/				
	② 概算人件費	5,200		13,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,896		28,226								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新文化ホール計画策定事業基金繰入(文化芸術会館等建設基金)			種類	基金繰入金		1,721		決算附属資料	35	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	基本構想策定	件	-	/	-	1	/	1	/	1	1
	基本計画策定	件	-	/	-	0	/	1	/	1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	検討委員会実施回数	回	-	/	-	7	/	7	/	5	7
	単位あたりコスト		-		242.3		5008.7				
	関係団体ヒアリング	件	-	/	-	21 ⁵⁸	/	30	0	/	30
		単位あたりコスト	-		29.2		-				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山市厚生会館は、昭和37年の建設から60年以上、平成13年の大規模改修からも20年以上が経過し、建物や設備の老朽化、多様化する市民ニーズへの対応が課題となっている。 また、本市文化振興基本方針においても、「文化の力を活用し、文化で賑わいと魅力あるまちづくりを目指し、市民が文化に触れる環境を整備」することを方針としている。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	基本構想・基本計画策定支援業務について、プロポーザルを実施し、設計金額よりも大幅に減額となった。 また、オンラインで打合せをするなど、コスト削減を実施している。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	他市事例について、聞き込みや資料をいただき、十分活用している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	R4年度において検討委員会7回開催(予定)、基本構想を策定、文化関連団体ヒアリング55団体実施、大学生・高校生にヒアリング3回実施、市民ワークショップ5回開催、Webアンケート118件、パブリックコメント152件など多くの市民意見を聞くことが出来た。 R5年度においては、新文化ホール基本計画の検討過程において、パブリックコメントを行う際、新聞等のメディアに取り上げていただき、212件のパブリックコメントを提出いただいた。 このように、新文化ホールに係る検討過程においては、市民意見を大切に進めてきた一方で、本計画に関して様々な市民のご意見があることを踏まえて、改めて市民の意見等をお聴きする必要がある。		
改 善 策	様々な市民の声があることを踏まえて、基本構想に定めた理念は大切にしつつ、機能や規模、スケジュール等について、新たな検討委員会を設置し、改めて市民の意見等をお聴きしながら再検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--